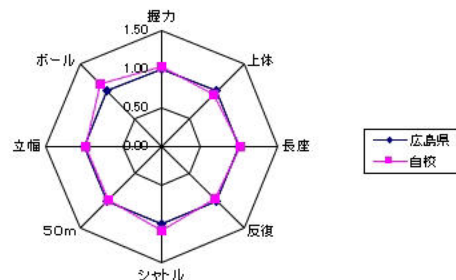


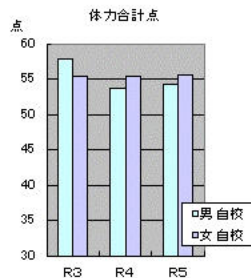
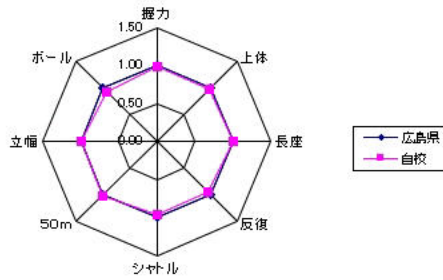
男子の体力合計点 学校 54.25点 県平均 54.16点

女子の体力合計点 学校 55.64点 県平均 56.22点

体力・運動能力調査比較(小5男子)



体力・運動能力調査比較(小5女子)



## R5体力・運動能力調査の結果と分析

## 課題解決のための今後の取組及び数値目標

## 結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・1年生の女子と3年生の男女が県平均を下回っていた。  
 ・県平均を上回った割合は75%だった。  
 ・体育の授業だけでなく、毎朝、体力アッププログラムの腕振り・もも上げを行うことができた。

② 20mシットルラン(中学校区の課題種目)  
 ・県平均を上回っている割合が、41%だった。  
 ・夏期に猛暑により、外遊びをする機会が減少したり、体育科の授業では長距離を走る活動が少なかったりしたことが考えられる。  
 ・気温が高くない時期に、長距離を走る機会を増やす必要がある。

③ 長座体前屈(本校の課題種目)  
 ・県平均を上回った割合が50%だった。  
 ・体育の授業だけでなく、毎朝、体力アッププログラムのストレッチを行うことができた。  
 ・日々の柔軟運動の継続だけでなく、測定する際のポイントを押さえる必要がある。

## ①呉市の課題種目

(50m走)

具体的な数値目標  
 (男子0.3秒, 女子0.4秒)

## ②中学校区の課題種目

(20mシットルラン)

具体的な数値目標  
 (男子5回, 女子5回)

## ③本校の課題種目

(長座体前屈)

具体的な数値目標  
 (男子2cm, 女子2cm)

## 具体的な取組内容

・今後も朝の会や体育の授業等で継続的に、腕振り・もも上げや走の運動を行う。  
 ・くれチャレンジマッチスタジアムを活用し、走の運動(ダッシュリレー)、投の運動(シットルリレー)、8の字跳びに取組む。  
 ・陸上同好会の練習への積極的な参加を促し、速く走るための練習や指導の機会を増やしていく。

## 具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)

・毎朝、体力アッププログラムのバービートレーニングを継続的に行う。  
 ・運動委員会の取組として、大休日の数日間、運動場のトラックを走るキャンペーンを行う。  
 ・ロードレース大会に向けて意識を高め、体育の授業では積極的に持久力を付ける運動を取り入れる。

## 具体的な取組内容

・今後も朝の会や体育の授業等で継続的に、柔軟運動の時間を確保する。  
 ・柔軟運動に重点的に取り組む期間を設定し、家庭でも日常的に柔軟運動に取り組むことができる児童を育成する。  
 ・測定する際のポイントを掲示することで、意識して練習することができるようにする。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)